

平成20年度事業計画

(自平成20年3月1日 至平成21年2月28日)

社団法人 溶接学会

平成20年度において、本会は溶接研究の拡充振興及び溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会・国際シンポジウム（定款33条11項）

1.1 春季全国大会

平成20年4月8日～10日 ハイアット・リージェンシー・オオサカ（大阪）

研究発表講演（113件、内「日韓若手シンポジウム」10件）、特別講演「ものづくりこそ経済発展の原動力」、シンポジウム「構造物の計量化に寄与する非鉄金属材料の溶接・接合最前線」、フォーラム「高出力・高品質レーザの開発とその応用」、日韓若手シンポジウム（一般講演10件、基調講演2件）

1.2 秋季全国大会

平成20年9月10日（水）～12日（金）（小倉）

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演（2件）

フォーラム「地球環境保全、高機能化を目指した溶接構造物の最前線」、若手会員のためのフォーラム、技術セッション「溶接技術の進歩と自動車への利用例」、ワークショップ「匠の技とロボット」

1.3 第8回国際シンポジウム（8WS）「ものづくり新時代に向けた溶接・接合技術のイノベーション」

平成20年11月16日（日）～18日（火）（京都）

2. 講習会（定款第3条1項）

2.1 平成20年度溶接技術基礎講座（第36回）

会期 平成20年6月4日～5日

会場 科学技術館（東京）

2.2 平成20年度溶接工学夏季大学（第57回）「溶接・接合工学の基礎と応用」

会期 平成20年7月15日～16日

会場 大阪大学接合科学研究所 荒田記念館（大阪）

2.3 工業高校教員のための溶接工学夏期講座（第44回）

会期 平成20年8月

会場 未定

3. 刊行（定款第3条3項）

3.1 溶接学会誌 自77巻2号（平成20年3月号）至78巻1号（平成21年1月号）8冊

3.2 溶接学会論文集（WEB出版）第26巻2号（平成20年5月）～第27巻1号（平成20年12月）4冊

3.3 全国大会講演概要集（第82集及び第83集）2冊

3.4 溶接学会技術資料を随時刊行する。

3.5 平成20年度溶接工学夏季大学教材「溶接・接合工学の基礎と応用」

3.6 Mate2009 15th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" 論文集

4. 第76回通常総会

開催期日 平成20年4月9日

開催場所 ハイアット・リージェンシー・オオサカ

- 議題
- 1) 平成19年度事業報告承認の件
 - 2) 平成19年度収支決算報告承認の件
 - 3) 監査報告
 - 4) 平成20・21年度役員・監事の選任の件
 - 5) 平成20年度事業計画承認の件
 - 6) 平成20年度収支予算承認の件
 - 7) 平成20・21年度代議員紹介
 - 8) 名誉員推薦
 - 9) 特別員推薦
 - 10) 表彰の件
 - 11) 溶接学会フェロー認定

5. 役員会

5.1 理事会

定例理事会を8回（3, 4, 5, 9, 12, 1, 2, 3各月）開催（6, 7, 8, 10, 11各月は休会）及び必要あるとき開催

5.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

6. 業務活動

6.1 企画委員会

学会財政健全化をさらに確実としながら、学会活動の活性化、学会員のメリット創出に一層注力すべきである。学会の情報化推進や溶接技術者教育、研究委員会、学会支部の活動活性化、さらに溶接連合講演会の継続など日本溶接協会並びに産報出版社との連携のあり方など、従来の施策を見直しながらアクションプログラムの効果的な実施方法を引き続き検討する。また、本年度は11月に開催する第8回国際溶接シンポジウム（8WS）の成功に向けて活動する。

その一方で、公益法人化への移行に向けて、中・長期展望を睨んだ学会活動のあり方と学会事務局体制の議論を開始する必要がある。

6.2 溶接情報化委員会

年度内4回の定例委員会を開催し、本会の学術情報公開の基本方針に従い、本会の出版物、研究委員会資料等の情報発信形態等を検討すると同時に、本会HPのメンテナンスシステムを検討する。学会メールマガジンについても検討を行う。

また、溶接情報センターを通じた日本溶接協会との情報化推進ワークを継続して行っていく。本会HPと溶接情報センターとのリンクの仕方、センターへの情報提供の仕方（電子化権の取扱い）、情報検索システム、キーワードづけ、などが主な検討項目である。

6.3 編集委員会

溶接学会誌、溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。論文集はWEB論文集として引き続き発行する。溶接学会誌の内容改訂を行い、モニター会員によるアンケート調査を実施して、会員の要望に添った学会誌の内容充実に努める。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-

ELS) 事業に引き続き参加し、溶接学会誌は創刊号からを対象として発行日から3年経過後に同サービスにて公開する。また溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）に引き続き参加して、溶接学会論文集を発行直後から同サービスにて公開する。

英文誌 STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集に引き続き参加する。

6.4 論文査読・審査委員会

昨年度に引き続き、インターネット利用による電子委員会をさらに推進し、査読期間の短縮を促進するとともに、投稿者と査読者がともに便利で使いやすい電子委員会システムへの改善に努める。原則年度内1回の全委員が集まる定例委員会を開催し、電子委員会システム遂行上の課題の確認と改善のための検討、およびインターネットのみでは伝わりにくい種々の意見交換および議論にあてる。また、8WS発表論文の内、論文集への掲載希望論文を8WS編集委員会と協力して査読審査し、8WS特集を通常論文集の中に含めて刊行する。

STWJへの推薦論文を選考し、同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を引き続き進める。しかし、STWJ日本査読委員の負担が大きいため、STWJへの推薦システムの改善を検討する。

6.5 全国大会運営委員会

全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。

講演概要集第82集及び第83集を発行する。

春季・秋季両大会において有識者による特別講演を実施する。

全国大会における35歳以下の研究者による研究発表に対し、溶接学会研究発表賞の審査・推薦を行う。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-EIS）を通じて、講演概要集を公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）を利用した発表及び投稿申込を実施する。

6.6 溶接教育委員会

(1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。

(2) IIW特認コースを踏まえて、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。

1) 平成20年度溶接工学夏季大学（前掲）

2) 平成20年度溶接技術基礎講座（前掲）

3) 第43回工高教員のための溶接工学夏期講座（前掲）

4) 溶接・接合技術セミナー

5) 溶接技術実用講座（支部と共に）

6) 新規企画講習会、セミナーなど

(3) IIW第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。

(4) 国際溶接学会（IIW）特認コースの実施運営要領について検討する。

(5) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討する。

(6) 日本溶接協会教育委員会と連携し、IIWスキームに準拠した溶接技術者教育用テキストの作成に向けた検討を

行う。

6.7 國際交流委員会

必要ある時隨時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。

国際溶接学会（IIW）に参加する、日米協定、日韓協定及び日越協定に基づく活動（合同シンポジウム等を含む）を推進する。第8回国際シンポジウム（8WS）開催に協力する。

アジア溶接連盟（AWF）の活動及びシンポジウムに引き続き参加し、本年11月の日本開催に協力する。（前掲）

6.8 科学研究費委員会

必要あるとき隨時開催し、文部科学省科学研究費に係る問題の検討及び処理を行う。

6.9 溶接用語委員会

(1) IIW第6委員会と合同で適宜、委員会を開催し、IIW第VI委員会の活動を支援する。

(2) 溶接・接合辞典の刊行を検討する。

(3) JIS溶接用語改訂に関し、日本溶接協会規格委員会に協力する。

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワークを強化および国際化するとともに、学会活動に対する積極的な参加を促進することを目的として、魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。また、学会員以外の方々にも参加していただけるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

7.2 イベント

(1) 春季全国大会フォーラム（共催：（財）溶接接合工学振興会）

第4回日本－韓国若手溶接研究者合同シンポジウムにおける特別講演を従来のイブニングフォーラムと同等の位置付けとして扱う。

主題：アジア溶接界における日韓に役割

日時：平成20年4月9日（水）14:50～16:20

場所：ハイアット・リージェンシー・オーサカ（春季全国大会開催会場）

特別講演者：野村博一氏、井上誠一氏

なお、秋季全国大会時のイブニングフォーラムは「若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会」の開催を予定している。

(2) The 4th JWS-KWJS Young Researchers Symposium

日時：平成20年4月9日（水）13:15～18:10

場所：ハイアット・リージェンシー・オーサカ（春季全国大会開催会場）

7.3 見学会

日時：平成20年6月頃

場所：Spring8

(4) セミナー、勉強会、見学会等を開催し、若手会員の活動を支援する。

(5) 若手会員間における学会へのニーズ、期待を把握し、溶接学会のあるべき姿の提言を行う。

7.4 情報交換および広報

(1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。

(2) 溶接学会誌第77巻に、「スポットライト—若手の特集記事

一」4件を掲載する。

- (3) ホームページに、活動報告、研究室・研究所紹介等の情報を探載する。
- (4) メーリングリスト(E-mail)による情報交換を促進する。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動情況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会HPの拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際対応、ナショナリゼーション化対応等について検討する。

- (2) 春季全国大会においてフォーラム(高エネルギービーム加工研究委員会)を開催する。(前掲)
- (3) 秋季全国大会においてフォーラム(軽構造接合加工研究委員会)を開催する。(前掲)
- (4) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」(中込忠男主査)

冷間成形角形鋼管の鋼管内側残留応力の大きさや不めっき処理方法と割れ発生の関係について詳細に検討するため、小型試験体を用いての実験を継続して行う。また、溶接残留応力と割れ発生の関係を調査する。研究会は、6回程度行う予定としている。

- (5) 特別研究会「TIG溶接並みの高品質溶接を可能とする次世代MIG溶接プロセスの開発・実用化」(平岡和雄、平田好則両主査)

平成20年度の延長を申請し、これらを含めて将来展開を纏めてシンポジウム開催を提案する予定である。

- (6) 特別研究会「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」(田中学主査)

最新の計測・計算技術に基づいた溶接・接合の動画および図表集を前年度決定された指針に基づいて完成させることを目標に、3回程度の研究会を行う。また完成する動画および図表集をデジタル化ビジュアル教材としたセミナー開催に向けて、その内容や開催時期について検討する。

- (7) アドホック研究会「ファイバーレーザSMART加工研究会」(塚本雅裕主査)

高品質レーザーの一つであるファイバーレーザーを用いた加工を中心にレーザ加工の現状についてさらに調査を進めるとともに次世代レーザー加工(レーザSMART加工)に必要となるレーザ(次世代レーザー)についても調査を進め、次世代レーザ開発及びレーザSMART加工に関するシンポジウムの開催を予定している。

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
178回	3月	東京	研究報告5件(日本船舶海洋工学会構造・材料研究委員会材料・溶接部会との合同委員会)
179回	5月	未定	
180回	11月	未定	
181回	1月	東京	

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回 年4回数

- (2) 見学会 地方開催時および随時

- (3) 会期 1回の会期は原則として1日とする。

- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
202回	5月	東京	基調講演、研究報告 5~6件
203回	8月	大阪	基調講演、研究報告 10~12件 (アーク物理研究委員会と合同)
204回	未定	未定	基調講演、研究報告 5~8件
205回	2月	東京	基調講演、研究報告 10~12件 (溶接冶金研究委員会と合同)

JIW第12委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
192回	5月	東京	研究報告 5~6件
193回	9月	大阪	研究報告 5~6件
194回	10月	広島	研究報告 5~6件
195回	2月	東京	研究報告 10~12件 (溶接法研究委員会と合同)

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
217回	4月	東京	研究発表 4~6件
218回	6月	東京	研究発表 4~6件
219回	11月	未定	研究発表 4~6件 見学会
220回	1月	東京	研究発表 4~6件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回 年3回数
- (2) 会期 1回の会期は、原則として1日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
58回	5月	東京	研究発表 5~6件、文献紹介、その他
59回	10月	大阪	研究発表 5~6件、文献紹介、その他
60回	2月	東京	研究発表 5~6件、文献紹介、その他

JIW第4委員会と協力して国際研究活動を行う

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
81回	6月	東京	講演・研究報告 4~5件
82回	9月	大阪	講演・研究報告 4~5件
83回	11月	未定	講演・研究報告 4~5件 見学会
84回	1月	東京	講演・研究報告 4~5件

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。

WG活動を行う。

8.8 溶接アーク物理研究委員会

- (1) 開催回 年4回数
- (2) 会期 1回の会期は、合同研究委員会のときは2日その他1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
170回	5月	東京	研究報告 5~6件
171回	8月	大阪	研究報告 10~12件 (溶接法研究委員会と合同)
172回	11月	東京	研究報告 5~6件
173回	1月	東京	研究報告 5~6件

JIW第212委員会などと協力して国際研究活動を行う

8.9 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回 年3回数
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日とする。

(3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
87回	5月	東京	講演、研究発表 4～7件
88回	9月	東京	講演、研究発表 4～7件
89回	12月	東京	講演、研究発表 4～7件

(4) ソルダリング分科会を開催する。

会合名	開催日	開催地	内容
45回	7月	東京	単独開催、テーマ設定方式
46回	10月	東京	単独開催、テーマ設定方式

(5) Mate2009 シンポジウムを開催する

8.10 界面接合研究委員会

(1) 開催回 年3回数

(2) 会期 1回の会期は原則として1日とする。

(3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内容
78回	5月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件
79回	10月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件
80回	1月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件

9. 溶接学会記念基金助成活動

第11回 AWF シンポジウム（11月17日、京都、8WS 開催時）にて開催予定の AWF（アジア溶接連盟）シンポジウム開催を支援する。

10. 国内活動

10.1 日本学術会議材料工学研究連絡委員会、同土木工学・建築

学委員会、同機械工学委員会、材料戦略委員会、金属連合協議会、生産学術連合会、電子情報技術産業協会、日本技術者教育認定機構、日本工学会、日本溶接協会、日本非破壊検査協会、その他、溶接学術連合講演会など関係学協会との協力態勢を積極的に樹立し本会の目的達成を図る。

10.2 各政府機関に対して行政協力を積極的に行う。

10.3 支部活動を活発に行う。

11. 国際活動

11.1 JIW の活動を支援し、IIW の活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。

11.2 第8回国際シンポジウム（8WS）を平成20年11月16日～18日（京都）を開催する。（前掲）

11.3 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換して積極的に交流を図る。

11.4 会員による海外視察の立案、国外からの来訪者による特別講演の実施、訪日外国人の国内視察斡旋などにより研究及び経験の交流を図る。

11.5 米国溶接協会（AWS）、大韓溶接学会（KWS）、及びベトナム溶接学会（VWS）の各協力協定に基づき交流活動を推進する。

アジア溶接連盟（AWF）総会を11月16日～17日（京都）の開催及び運営・活動に協力する。

平成20年度支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業計画

1.1 見学会 未定

1.2 講習会 未定

2. 会務報告

2.1 平成20年度支部商議員会並びに支部総会

日 時：平成20年3月6日（木）16:00～17:00

場 所：北海道大学工学部本館 A1-01室

2.2 各賞授賞者審査委員会及び選考委員会

(1) 溶接学会溶接技術普及賞審査委員会

(2) 溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会

(3) 溶接学会奨学賞・溶接学会北海道支部学生奨学賞選考委員会

(4) 溶接学会溶接学術振興賞

2.3 幹事会3回開催予定

2. 東北支部

1. 事業計画

1.1 講習会・セミナーなど

第20回溶接・接合研究会

日 時：平成20年7月18日（金）13:00-17:00（予定）

場 所：岩手大学工学部（予定）

研究発表 5～10件

参加者：40～50名

1.2 刊行：なし

2. 会務計画

2.1 第45回商議員会

日 時：平成20年5月10日（土）11:00～12:00

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）

2.2 表彰

日 時：平成20年5月10日（土）12:00～12:30

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）

2007年度溶接技術奨励賞：2名

2007年度溶接技術普及賞：2名

2007年度本部奨学賞（報告）：1名

2007年度東北支部奨学賞（報告）：6名

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送（平成20年6月中旬）

3. 東部支部

1. 度事業計画

1.1 第36回実用溶接講座（見学会&講習会）

平成20年秋に実施予定

主 題：（仮）「高張力鋼板の溶接」で詳細検討中。

1.2 地区講演会・講習会

(1) 東京地区：実施予定（詳細未定）

(2) 神奈川地区：実施予定なし

(3) 千葉地区：

溶接技術講習会

主 題：「各種溶接法の特徴と適用」

主 催：（社）日本溶接協会 千葉県支部

共 催：（社）溶接学会 東部支部 千葉県地区委員会

開催日：平成20年3月19日（水） 9:30～15:30

開催場所：千葉県産業支援技術研究所

1. 最近のアーク溶接機器の動向（ダイヘン溶接 MS, 三田 常夫）
 2. サブマージアーク溶接（日鐵住金溶接工業, 須田一師）
 3. 電子ビーム溶接（月島テクノマシナリー, 真庭健一）
 4. レーザ溶接（レーザックス, 荒谷 雄）
- (4) 茨城地区：実施予定（詳細未定）
- (5) 埼玉地区：「溶接電源の使用方法」に関する講演会予定（詳細未定）

(6) 栃木地区：

総 会：平成20年6月予定（詳細未定）

溶接技術講演会：平成20年11月予定（詳細未定）

(7) 群馬地区：実施予定（詳細未定）

(8) 新潟地区：

溶接技術講習会

主 題：各種材料の溶接技術の基礎と溶接不良の対策

主 催：（財）新潟県県央地域地場産業振興センター, 溶接
学会東部支部

開催日時：平成20年3月19日（水）13:30～17:30

開催場所：（財）新潟県県央地域地場産業振興センター三
条・燕地域リサーチコア

1. ステンレスの溶接技術の基礎と溶接不良の対策（タセ
ト, 岡崎司）
 2. アルミニウムの溶接技術の基礎と溶接不良の対策（神
鋼, 笹部誠二）
 3. チタンの溶接技術の基礎と溶接不良の対策（日本チタ
ン協会, 上瀧洋明）
- (9) 山梨地区：実施予定なし
- (10) 長野地区：実施予定（詳細未定）

1.3 平成20年度、通常総会

開催日時：平成20年5月20日（火）15:00～17:00

開催場所：（社）溶接学会, 会議室

1. 平成19年度事業報告, 皆無報告および収支決算報告承
認の件
2. 平成20年度事業計画案および収支予算案承認の件
3. 役員改選にともなう新役員承認の件
4. 特別講演
5. 溶接技術奨励賞および溶接技術普及賞の受賞式

1.4 特別講演

開催日時：平成20年5月20日（火）15:50～16:40

開催場所：（社）溶接学会, 会議室

（財）発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術セン
ター 審議役 大北茂氏

「最近の鉄鋼ならびに溶接材料の開発と動向について」

1.5 表彰

1) 平成19年度 溶接技術奨励賞, 溶接技術普及賞の表彰

平成20年5月20日（火）16:40～17:00

（社）溶接学会, 会議室

平成20年度 通常総会, 特別講演終了後, 受賞式を行い表彰
する。

受賞祝賀会：受賞式終了後, 秋葉原周辺にて実施予定。

2) 平成19年度 溶接学会奨学賞, 東部支部奨学賞の表彰

平成20年3月 楠を推薦者に送付し, 推荐者から受賞者に
楠を授与して表彰する。

1.6 常任幹事会・地区委員長会議 年4回, 適宜開催する。

4. 東海支部

1. 事業計画

1.1 講習会, セミナーなど

(1) 溶接研究会

第66回 平成20年7月 名古屋市工業研究所 視聴覚室

第67回 平成20年10月 名古屋大学 VBL

第68回 平成20年2月 共催：中部レーザ応用研究会と
共催

名古屋大学 VBL「最近のレーザ加工技術」

(2) 講習会

第15回溶接技術講習会 平成19年12月

1.2 JICA国際溶接技術者研修コースへの協力 4月21日から10 月24日（8名の研修生）

2. 会務計画

2.1 平成20年度支部総会及び特別講演

日 時：平成20年5月14日 13:30～17:00

場 所：名古屋大学 VBL「ベンチャーホール」

議 事：

1) 平成19年度事業報告及び決算報告

2) 平成20・21年度支部役員の選出

3) 平成20年度事業計画（案）及び予算案の審議

4) 支部三賞授賞式：

溶接技術奨励賞— 杉田雄二氏

溶接技術普及賞— 高須哲夫氏, 三宅 洋氏

特別講演 2件

2.2 支部商議員会および支部役員会

1回商議員会 平成20年4月 名古屋大学

2回商議員会 平成20年5月 名古屋大学

支部3賞授賞審査委員会 平成21年3月 名古屋大学

5. 北陸支部

1. 事業計画

1.1 特別講演会

第1回 開催日：平成20年7月予定 場所：富山県工業技
術センター

第2回 開催日：平成20年11月予定 場所：未定

1.2 工場見学 開催日：平成20年9月予定 場所：未定

1.3 研究発表会 開催日：平成20年11月予定 場所：未定

特別講演会と同日開催予定

2. 会務計画

2.1 平成20年度支部総会

開催日：平成20年7月予定

場 所：富山県工業技術センター

2.2 支部商議員会及び役員会

第1回 開催日：平成20年7月予定 場所：富山県工業技
術センター

第2回 開催日：平成20年11月予定 場所：未定

6. 関西支部

1. 事業計画

(1) 平成20年度講演・工場見学会

関西地区の工場見学および研究発表を計画（平成20年秋頃、場所・テーマ未定）

(2) 上記研究発表テキストを刊行予定

2. 会務計画

(1) 商議員会・幹事会

平成20年度商議員会・幹事会を平成20年5月に開催予定（場所未定）

7. 中国支部

1. 事業計画

1.1 研究会・見学会

日程、場所：未定

参加者数：50名程度（過去実績）

1.2 溶接技術講習会

題目、日時、会場：未定

参加者数：60名程度（過去実績）

1.3 第4回 溶接・接合工学学修会

日程：未定

場所：岡山県（予定）

趣旨：溶接学会員の増員、中国支部の若手技術者の基礎力養成、

中国支部ネットワーク作り

内容：中国支部会員（講師）5名程度による講義、WES 2級テキスト使用

他団体等との共催（予定）

参加者数：50名程度（過去実績）

2. 会務計画

2.1 第1回 幹事会

日程：平成20年5月（予定）

議題：研究会・見学会、溶接・接合工学学修会、講習会等打合せ

2.2 第2回 幹事会・受賞審査委員会

日程：平成20年12月（予定）

議題：20年度事業・会務報告、21年度事業・会務計画立案、各種表彰推薦者の審査

2.3 第3回 幹事会・商議員会合同会議

日程：平成21年3月

議題：20年度事業・会務報告、21年度事業・会務計画説明、奨学賞受賞報告

2.4 総会・特別講演会

日程：平成21年3月

議題：20年度事業・会務報告、21年度事業・会務計画説明、表彰式

受賞記念講演会：2名程度

8. 四国支部

1. 事業計画

1.1 講習会、セミナー

1 第16回溶接技術基礎講座

日時：平成20年7月25日（金）

場所：徳島県工業技術センター

2 第14回材料関連学会支部・研究会連合講演会

日時：平成20年3月6日（金）

場所：徳島大学

1.2 刊行 なし

2. 会務計画

2.1 平成20年度通常総会

日時：平成20年7月25日（金）徳島県工業技術センター

2.2 常任幹事、地区委員長会議

2.2.1 第1回幹事会

平成20年7月25日 徳島県工業技術センター

2.2.2 第2回幹事会

平成21年3月6日 徳島大学

9. 九州支部

1. 事業計画

1.1 秋季全国大会

会期：平成20年8月10日（水）～12日（金）

場所：北九州市国際会議場

1.2 溶接設計講座

1.3 溶接技術者育成教育

日時：平成20年10月24日（土）、25日（日）（予定）9:00～16:30

会場：戸畠生涯教育センター（予定）

1.4 平成20年度溶接学会九州支部研究発表会

日時：平成20年7月25日（金）9:00～17:00（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

研究発表5～10件

参加者：30～40名

1.5 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集、第5号

2. 会務計画

2.1 平成20年度商議員会

日時 平成20年7月25日（金）12:00～13:00（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

2.2 表彰

日時：平成20年7月25日（金）13:00～13:10（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス

平成20年度溶接技術奨励賞：2名

平成20年度溶接技術普及賞：1名

平成20年度本部奨学賞（報告）：1名

平成20年度九州支部奨学賞（報告）：1名

2.3 平成20年度通常総会

日時：平成20年7月25日（金）13:10～13:30（予定）

会場：九州大学箱崎キャンパス